

ニホンナシ根圏制御栽培法の新しい仕立て方法「3 年成り仕立て」

利用対象：果樹栽培農家

- ニホンナシの盛土式根圏制御栽培法は早期多収が可能な栽培法ですが、苗の状態や枝の発生位置によっては主枝や結果枝の確保が難しい場合があります。そこで、主枝・結果枝の安定確保に重点を置いた仕立て方を開発しました。

<特徴>

- 定植時に苗を切返すことで、発生位置の良い枝を主枝として選抜できます。
- 生育 2 年目は両主枝に結果枝が安定して発生します。
- 生育 3 年目に初結果し、既存の仕立てとほぼ同等の約 2.2t/10a の収量が得られます。
- 定植する苗の生育が悪い場合は本技術の活用が有用です。

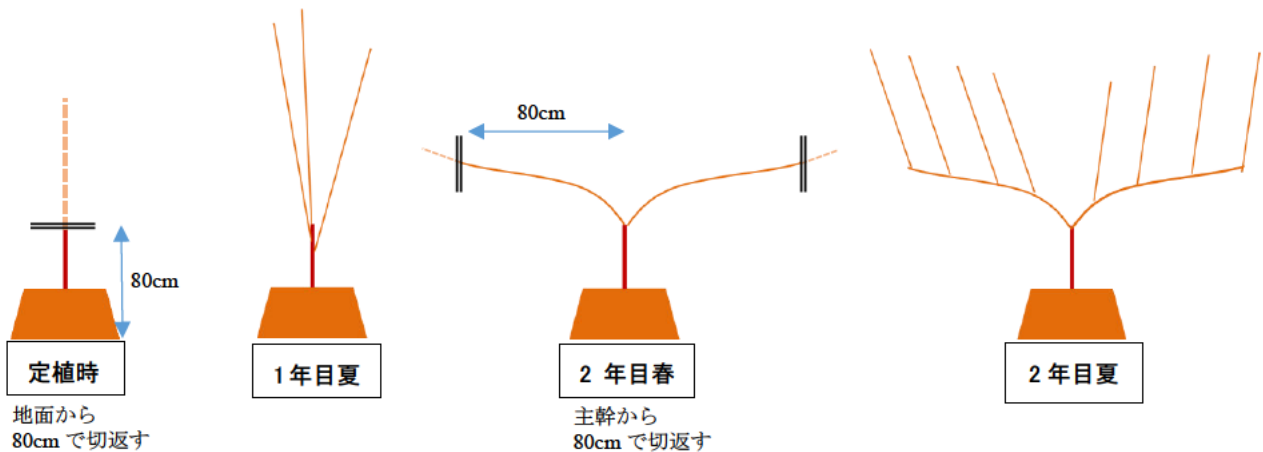


図 1 3 年成り仕立ての仕立て方



図 2 3 年目の樹姿

<留意点>

- 既存の仕立てよりも収穫が 1 年遅れることから、定植する苗の状態や経営方針をもとに仕立てを選択ください。
- 定植 2 年目までは既存の仕立ての 70% 量の灌水・施肥で栽培します。
- 定植 2 年目からの新梢管理は既存の仕立てと同様です。
- この成果は「幸水」を用いた試験を基にしています。他品種での適応性は確認していません。

お問い合わせ先	生産技術研究室 地域連携研究課 安川大二郎 電話 0598-42-6356 中央農業改良普及センター 西川 豊 電話 0598-42-6707
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm 果樹の根圏制御栽培法導入マニュアル(果樹の根圏制御栽培法実践コンソーシアム共同研究機関発行) http://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/kajyu/konkenseigyو.html